

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部医療人育成支援センターでは、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：看護師に対するシミュレーション教育方法の検討
一病棟単位で実施した救急蘇生教育プログラムを通して一

1. 研究の概要

安全な医療を提供する為には、新人看護師の看護実践能力の向上は、重要な課題です。厚生労働省は、新人看護師の看護実践能力の向上を目指し、「新人看護職員研修ガイドライン」を提示しており、そこでは、各施設の特性に適した方法を選択し、実現可能な研修を計画することが望ましいとされています。なかでも、救急蘇生に関する技術は、一般にモデル人形を用いたBLS(Basic Life Support；以下、BLS)研修会を行う施設が多く、基本的手技を修得する場として位置付けられています。しかし、臨床現場では、BLS後に、到着した看護師や医師と協力してALS(Advanced Life Support)を開始し、患者の呼吸と循環の安定を目指す対処行動が必要となります。これは、患者の生命に直結しており、看護実践能力として重要な技術の一つです。加えて、臨床現場のOJT(On-the-Job Training)で修得していくものでもあります。しかし、2年目看護師を対象とした調査では、半数の看護師は、「心肺蘇生が必要な場面の経験」は27%と臨床現場で蘇生を経験する場面は少なく、急変時に必要とされる胸骨圧迫、挿管や除細動などの急変処置は、OJTによる学びの場が提供されにくい現状があります。したがって、新人看護師の救急蘇生に関する教育は、実践に即した行動ができる教育の場が求められている状況にあります。

宮崎大学医学部附属病院では、2012年10月より、全職員を対象にBLS研修会を継続して開催し、新人看護師においても、BLSを学習する機会を得ています。さらに、新人看護師研修では、診療科の特性や求められるニーズが異なることから、「救命救急処置技術」は各部署が勉強会として実施してきました。しかし、これまでの勉強会は、教育担当看護師が、新人看護師に修得してほしい急変事例の経験をもちながらも、それらを活用した効果的なプログラムの展開を図ることは、時間的制約があり実施困難な状況でした。このような状況の中、2018年度より、各部署に即した急変事例への対処行動の修得に向けて、さらなる向上を目指し、医療人育成支援センターと看護部が共同し、シミュレーション教育を開始しました。研修の評価方法として、新人看護師は、救急蘇生技術評価表により評価し、同時に、参加者全員に対しては、研修の企画運営や救急蘇生技術の理解に関する自己評価、および、研修への要望を記載してもらうようアンケートを実施してきました。

そこで、本研究では、シミュレーション教育後のアンケート結果を分析することにより、今後のさらなる効果的なシミュレーション教育の運営に向けて示唆を得ることができると考え、その教育効果について検討することを目的としています。

2. 目的

本研究は、看護師を対象とした救急蘇生の研修会として実施したシミュレーション教育の教育効果について検討することが目的です。なお、本研究は、看護師現任教育の分野における新たな知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2020年3月まで行われます。

4. 対象者

2018年6月から2018年12月に宮崎大学医学部医療人育成支援センターが支援した救急蘇

生の研修会を受講した方が対象となります。

5. 方法

対象となる方に記載いただいたアンケートを利用させて頂き、これらの情報をもとにシミュレーション教育効果を解析し、シミュレーション教育の有用性を検討します。

本研究で使用する資料・情報は記載いただいたアンケートとなります。宮崎大学医学部医療人育成支援センターの助教 釋迦野陽子が情報の管理者として、情報管理を行います。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する医療人育成支援センター看護実践部門の法人運営費で実施します。この研究では利益相反は発生しません。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

本研究は無記名調査のため、途中辞退することができません。しかし、参加拒否に関しての問い合わせは下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部医療人育成支援センター

助教 釋迦野陽子

電話：0985-85-8305

FAX：0985-85-7239